

6日目 7月18日

会 場: 松江市営野球場

第2試合	~2回戦~																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
松江北	0	0	0	0	2	0	1	0	0							3	7	1		
飯 南	0	0	4	0	0	1	0	2	X							7	11	0		
(投手-捕手)																				
・ (松)	山本智→木谷 - 杉泊																			
・ (飯)	岩本→三上 - 川島悠→原																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (松)	門脇																			
・ (飯)	原、三上																			
(審判) [球審]	吉岡			〔一塁〕平安山					〔二塁〕大畑					〔三塁〕安達健						
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(松)	35	7	3	1	0	0	9	1	2	0	5	0			1	1	0	0	0	0
(飯)	35	11	6	2	0	0	4	1	4	1	4	1			0	1	0	1	0	0

**「飯南、上位打線の5連打で一気に勝負決める！」**

大会6日目松江会場の第2試合は、松江北と飯南の対戦となった。両校ともに初戦を接戦で制している。松江北は初戦完投の山本智、飯南は1年生右腕の岩本の先発で始まった。

試合は3回裏、飯南は連打で2死1・3塁とし3番石田のレフトへの適時打で先制する。さらに暴投で2死2・3塁とし、4番三上が三遊間を破る適時打を放つと、続く5番原も適時2塁打を放ち、この回一挙4得点を挙げ主導権を握った。

一方の松江北は5回表、安打と犠打で2死2・3塁とし、1番宮崎の二遊間を破る適時打で2点を返す。しかし、6回裏、飯南の7番大坂に1死2塁からライトへの適時打を許すと、8回裏にも4番三上の適時2塁打と守備の乱れで2点を挙げられる。打線は6回から継投した飯南のエース三上を前に何とか1点返すが、後続を断たれ反撃することが出来なかった。飯南は3回裏の1番からの5連打や1から5番で11安打中10安打を放つなど、1回戦に続いて好調の上位打線が大暴れした。

